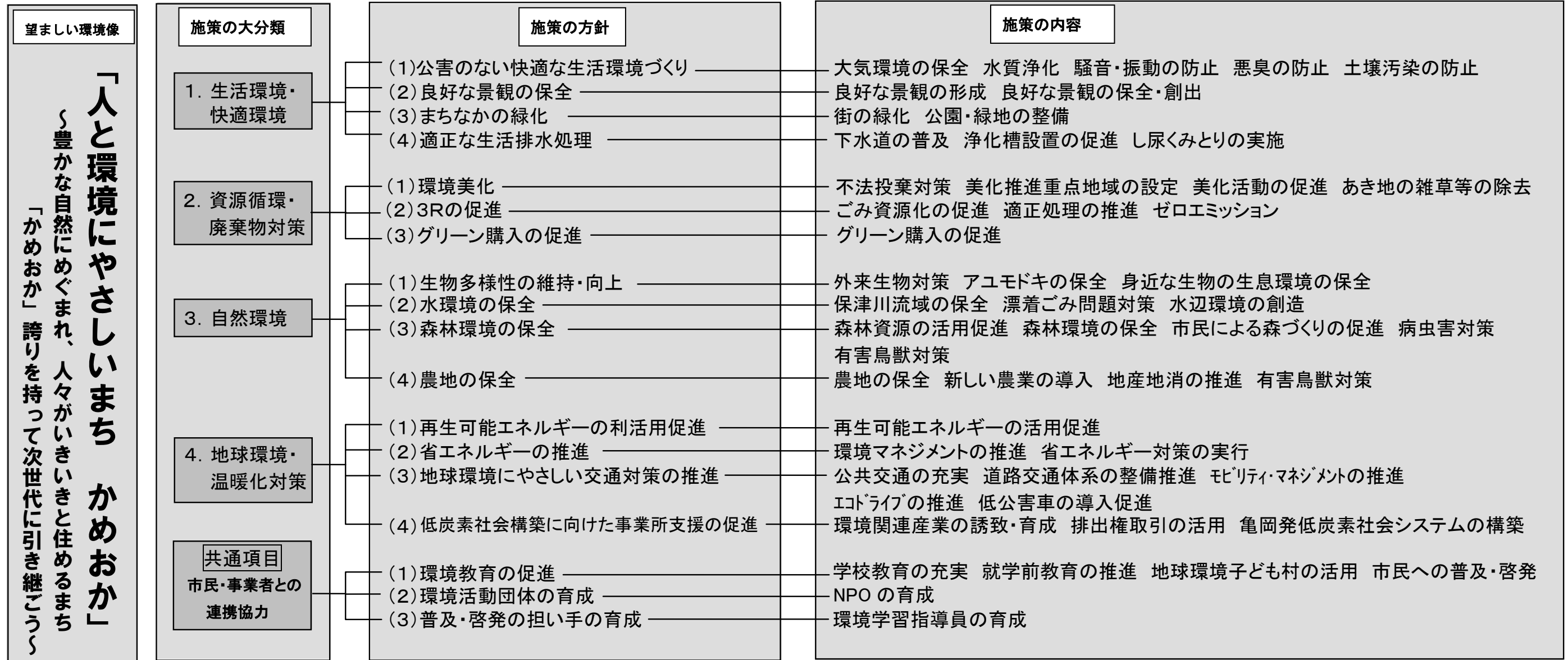


第2次亀岡市環境基本計画

取組状況報告書

平成26年度

施策の体系



1 生活環境・快適環境

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1	公害のない 快適な生活 環境づくり	大気環境の 保全	京都府と連携して苦情等の対応を行った。
2		水質浄化	水質検査を実施した。(5、11月に35定点、7、9、1、3月に9定点)
			京都府と連携して苦情等の対応を行った。
			公共工事において水質の維持保全に配慮した設計施工を行った。
3		騒音・振動の 防止	騒音測定を実施した。(昼間39箇所、夜間13箇所)
	公共工事において、低騒音・低排気ガスの重機の使用、低騒音・低振動工法を採用した。		
4	悪臭の防止	必要に応じて関係機関と連携し、苦情等の対応を行った。	
5	土壌汚染の 防止	届出時に京都府と連携して、特定施設の関係法令順守の指導を行った。	
6	良好な景観 の保全	良好な景観 の形成	景観計画の見直しを行い、平成27年3月議会で条例議案を上程し可決した。
7		良好な景観 の保全・創出	景観計画の策定、条例の制定に向け、自治会等と協議および啓発を行った。 亀岡市文化的景観検討委員会(1回) ワークショップ・フォーラムの開催。
8	まちなかの 緑化	街の緑化	花と緑のフェスティバルの実施(来場者数約15,000人)
			花づくりコンクールの実施(参加数:保育所(園)12箇所、小学校8箇所、中学校7箇所)
			自治会等が行うわがまち花づくり事業に補助金を交付した(16自治会)
			みどりのカーテンモデルの実施(参加校:公立の保育所5箇所、私立の保育園7箇所、公立の幼稚園1箇所、小中学校7箇所、市内介護施設9箇所)
9	公園・緑地の 整備	都市公園(35箇所)、開発公園(152箇所)	
10	下水道の普 及	計画的に管路整備を行った。(整備面積:6ha)	
		下水道の水洗化率:85.6%	
		下水道フェスティバルを開催した。	
11	浄化槽設置 の促進	設置補助金を交付した。(申請件数23件)	
		浄化槽設置の推進地域において組回覧を行った。(2回)	
12	し尿くみとり の実施	民間事業者を活用して、適正かつ安定したし尿くみ取りを実施した。	
		若宮工場(し尿処理施設)で適正処理を行った。	

2 資源循環・廃棄物対策

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1	環境美化	不法投棄対策	専任監視員、業務委託によるパトロールの実施。監視カメラ(2台)の設置による監視。
			不法投棄防止に向け民間事業者等と協定を締結し、監視体制を強化した。 (環境事業公社からの情報提供7件)
			警察との連携による監視パトロールの強化及び行為者の特定による再発防止。 (不法投棄行為者の検挙1件)
			森林保安監視員(巡視員2名)によるパトロールの実施。
2	美化推進重点地域の設定	年2回市民等と美化推進重点地域の清掃を実施した。	
3	美化活動の促進	関係自治会、企業、学校等の参加による美化推進重点地域の一斉清掃。(年2回)	
		清掃用具の貸与。(119団体)	
4	あき地の雑草等の除去	雑草パトロールによる不適正箇所への指導。(年2回)	
5	3Rの促進	ごみの資源化の促進	プラスチック製容器包装、ペットボトルの分別収集を実施し、リサイクルの推進を図った。
			ごみ処理手数料の見直しの検討をごみ処理基本計画の施策とした。
			環境フェスタで環境ポスター、標語、川柳コンクールの表彰及び展示した。街頭啓発を実施した。
			公共工事の発注において、設計図書(特記仕様書等)に明記し、再生資源の利用等に努めた。
6	適正処理の推進	桜塚クリーンセンターの2号炉整備改良工事を完了した。	
		ごみ収集の際に、不適正排出に対して啓発シールを貼り啓発した。	
		公共工事の発注において、設計図書(特記仕様書等)に明記し、廃棄物の適正処理に努めた。	
7	ゼロエミッション	環境マネジメントシステムを運用し、紙ごみの再利用に取り組んだ。	
8	グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	市役所におけるエコ・グリーン製品等の購入の推進に努めた。
		グリーン購入の促進	亀岡市ホームページを活用し、優れた取り組みを実施している企業等の紹介を行った。

3 自然環境

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み	
1	生物多様性の維持・向上	外来生物対策	市の防除計画に基づき、市が所有する捕獲オリを自治会や個人に貸し出して、アライグマ、ヌートリアを捕獲した。(捕獲実績:アライグマ98頭、ヌートリア9頭)	
			アユモドキの保全のため外来魚駆除大会(年2回)を実施した。	
アユモドキの保全		亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会(年2回)を開催。		
		環境フェスタ等で保護増殖活動を報告し、啓発冊子等を作成し配布した。		
		ファブリダム立ち上げ時や、中干しに伴う水路渇水時にアユモドキの救出作業を実施した。		
		文化資料館で、8月2日～8月31日にアユモドキ飼育展示を開催した。		
3		身近な生物の生息環境の保全	環境フェスタで、身近な魚類や外来生物について学べるブースを設置した。	
4		保津川流域の保全	「川と海つながり共創プロジェクト」の漂着ごみ発生抑制対策の取り組みとして、清掃活動や子どもたちへの環境教育を実施した。	
			河川愛護月間の啓発事業(懸垂幕・広報誌への掲載等)を実施した。	
5		水環境の保全	漂着ごみ問題対策	山形で開催された「第12回海ごみサミット」及び東京で開催された「第1回川ごみサミット」に参加し、情報交換を行った。
6		水辺環境の創造	保津川かわまちづくり推進協議会を開催し、整備計画の策定を行った。	
	河川工事において、水質の保全、生物の生態系に配慮した設計施工を行った。			
7	森林資源の活用促進	搬出による間伐材の資源活用の推進は未着手。		
		バイオマス利活用の研究の推進は未着手。		
		亀岡カーボンマイナスプロジェクトを推進し、大学と連携して放棄竹材を炭堆肥とするクールベジタブルに取り組んだ。		
8	森林環境の保全	豪雨による林道災害の復旧工事を実施した。		
		京都府と連携して林地開発の適切な指導を行った。府と合同でパトロールを実施した。		
9	市民による森づくりの促進	市内4地区でフィールドワークを実施し、市や森林組合、地元関係者でモデルフォレスト活動に協力した。		
10	病虫害対策	森林病虫害防除事業による伐倒駆除・樹幹注入等作業を森林組合に委託し実施した。		
11	有害鳥獣対策	有害鳥獣防護柵を設置した。(設置延長:4,650m)(亀岡市有害鳥獣対策協議会事業)		
		亀岡猟友会に委託し有害鳥獣を捕獲した。(捕獲頭数:667頭)		

3 自然環境

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
12		農地の保全	国営緊急農地再編整備事業着手に向けて、事業計画の策定及び土地改良法手続きの開始。
			農地・水・保全管理支払交付金から多面的機能支払交付金に制度が変更となり、説明会を開催し新制度への移行支援に努めた。
			中山間地域等直接支払制度の第3期対策最終年度であり、交付金の使用状況や、活動実績の確認、集落組織への説明会等を行った。
			認定農業者数は、法認定75名、地域認定28名の計103名となった。
13	農地の保全	新しい農業の導入	エコファーマー数は、94件(2法人、93名)となった。 また、エコファーマーロゴマークの作成経費等に対して助成を行った。
14		地産地消の推進	小中学校での食農学習推進事業の実施した。(13小学校、3中学校) 夏休みを利用した収穫体験・親子料理教室を実施した。
			農業体験の機会を提供する農業塾の実施(全7講座、参加者36口・115人)
			市内飲食店、直売所等での市内産農産物を使用した食事、弁当等の提供機会を拡大した。
15		有害鳥獣対策	有害鳥獣防護柵を設置した。(設置延長4,650m)(亀岡市有害鳥獣対策協議会事業) 亀岡猟友会に委託し有害鳥獣を捕獲した。(捕獲頭数:667頭)

4 地球環境・温暖化対策

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1	再生可能エネルギーの利活用促進	再生可能エネルギーの利活用促進	住宅用太陽光発電システム補助金を交付した。 (平成26年度実績193件、補助金額7,016千円、公称最大出力 859.69KW) 京都府避難施設等緊急時電力確保促進事業補助金を活用し、南つつじヶ丘コミュニティーセンターに10KW、亀岡市立病院に5kwの太陽光発電設備設置の申請を平成25年度に行ったが繰り越し、平成26年度に設置。
2		環境マネジメントの推進	環境マネジメントシステムを運用し温室効果ガス排出量の削減に努めた。 ※ 平成26年度の温室効果ガス排出量は、24,101,121kg。(平成21年度比6.7%の減少、平成25年度比3.6%の減少。) 亀岡商工会議所が中心となって、ISOの個別相談を行い、商工会議所のホームページを通じてエコ検定受験の推進を行った。
3	省エネルギーの推進	省エネルギー対策の実行	みどりのカーテンモデル事業を公立の保育所5箇所、私立の保育園7箇所、公立の幼稚園1箇所、小学校6箇所、中学校1箇所、介護施設9箇所で行った。 ライトダウンinかめおかを花火大開8月7日(木)に実施した。 環境マネジメントの運用を通じて、各公共施設の省エネルギー対策を促進した。
4		公共交通の充実	平成26年度乗車人数(コミュニティバス100,766人、ふるさとバス145,611人)は平成25年度と比較して増加した。
5	地球環境にやさしい交通対策の推進	道路交通体系の整備推進	都市計画街路(1路線)を整備した。 道路事業(3路線)を実施した。
6		モビリティ・マネジメントの推進	市内小学校(川東、大井、南つつじヶ丘小学校)において交通環境学習を実施した。 庁内掲示板によるエコ通勤促進の呼びかけや、「エコ通勤ニュース」の掲載を行った。
7		エコドライブの推進	庁内掲示板により、エコドライブの啓発を職員向けに行った。
8		低公害車の導入促進	公用車の更新にあわせ、低公害車を6台購入した。
9	低炭素社会構築に向けた事業所支援の促進	環境関連産業の誘致・育成	新たな工業用地の確保に向け、関係機関と連携し、用地情報の発信、土地利用転換についての協議を行った。 ものづくり産業振興会議を開催し、事業関係者との連携・推進体制づくり及び支援を行った。
10		排出量取引の活用	京都版CO2排出量取引制度について市ホームページで紹介した。
11		亀岡発低炭素社会システムの構築	4者協定(立命館大学、龍谷大学、京都学園大学、亀岡市)に基づく調査研究の継続、市内2店舗でクルベジ販売継続、その他、京都食とアートのマーケットin東本願寺にてクルベジ販売、学校給食へのクルベジ提供 等

(共通事項) 市民・事業者との連携協力

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1		学校教育の充実	地球環境こども村での環境学習の実施(来村事業:4団体、784名)
			桜塚クリーンセンター等の施設見学の実施(18小学校の4年生(800人))
			各学校において過去の取組や他校の取組を参考とし、「かめおか学」の充実を図るために補助金の交付を行った。
2	環境教育の促進	就学前教育の充実	各保育所等で、みどりのカーテンや花・野菜の栽培を通じて児童に環境教育を行った。
			各保育所等で、視聴覚教材を活用して児童に「自然や環境の大切さ」、「物を大切にす精神」を啓発した。
3		地球環境子ども村の活用	亀岡生き物大学の開催(7月～12月10回) 初級コース67名、中級コース15名、上級コース10名、マスターコース7名 計99名
			学校・地域連携事業の開催(21回)
4		市民への普及・啓発	環境フェスタを10月4日(土)にガレリアかめおかで開催した。
			図書館で環境関連図書を購入し、各館で紹介・展示を行った。
5	環境活動団体の育成	NPOの育成	市民活動団体の自主的な取り組みへの支援を充実させた。
			保津川復活プロジェクト(京都組)のネットワークを中心に、9月13日(土)「いかだにのってみよう！」を開催(308人試乗)
6	普及・啓発の担い手の育成	環境学習指導員の育成	NPO法人 亀岡人と自然のネットワークや、丹波淡水魚研究会と連携し、アユモドキ生息状況等調査や外来魚駆除活動を実施した。
			亀岡生き物大学の事業を通じて、環境学習指導員の育成・確保に努めた。